



喜寿・米寿を
迎えお祝した方々を祝う会

今年も恒例により、目出度く喜寿・米寿を迎えられた方々をお祝いする会を催します。

期日は、この会の設定記念日でもある10月1日(金)に開催いたします。今年、喜寿・米寿に該当される方は

喜寿

昭和8年1月1日から12月31日生まれの方

米寿

大正11年1月1日から12月31日生まれの方

いずれも共助会に3年以上在籍の方で、共助会費を完納された方が対象となります。

当日、出席された方には全員に「記念品」を贈呈し、全員の「記念写真」を撮影して、お配りいたします。

喜寿・米寿を迎えられ

る方は、是非、共助会事務局までお申し出ください。
(事務局の開設日にお問い合わせいたします『裏面参照』)

共助会設立10周年
記念式典のお知らせ

町田市シルバー人材センターの会員共助会が設立10周年を迎えました。この10周年を祝う記念式典を左記の期日で開催いたします。

◇ 期日

11月12日(金)

◇ 会場

町田市民フォーラム

3階ホール

◇ 時間

午後2時・開会



当日は、共助会の設立以来、永年にわたって幹事長として共助会を育て、今日まで導いて下さった太田清一元幹事長に感謝状をお贈りいたします。また、ご来場された皆様には、共助会の10周年の歩みを記載して作成しました「記念誌」と「記念品」を贈呈いたします。そのほか、アトラクションとしてお囃子やマジックなどもお楽しみいただけます。

共助会の設立10周年の記念事業として企画しました、めったに乘れない貸切のお座敷列車で行く「水上温泉」への一泊旅行は、会員の皆さんに大変好評で、定員が残りわずかとなりました。



行程は、10月20日(水) JR町田駅出発、群馬を代表する温泉地「水上温泉」へ、情緒漂う旅館「ひがき」でゆっくり一泊。翌日は、ガラス細工の(びーどろパーク)やリング狩りに酒造工場の見学などお楽しみが一杯の一泊旅行です。

~~~~~  
定員になり次第受付けを締め切りますのでお早めにお申し込み下さい。

お詫びのお知らせ

前号「ふれあい」第37号に掲載いたしました、平成21年度共助会の決算報告書で、科目の表記に対し一部手違いがありました。深くお詫び申し上げます。

改めて、21年度の「決算報告書」を掲載させていただきます。

町田市シルバー人材センター

会員共助会 (21年度決算報告書)

(21年4月1日~22年3月31日)

| 収入の部      |           |
|-----------|-----------|
| 科目        | 決算額       |
| 繰越金       | 854,075   |
| 事業収入      | 2,233,540 |
| ①会費収入     | 1,000,000 |
| ②助成金      | 1,212,400 |
| ③広告収入     | 20,000    |
| ④雑収入      | 1,140     |
| ⑤その他      |           |
| 旅行費       | 338,900   |
| イベント参加負担金 | 0         |
| 合計        | 3,426,515 |

| 支出の部      |           |
|-----------|-----------|
| 科目        | 決算額       |
| 事業費       | 527,594   |
| ①給付金      | 110,000   |
| ②イベント     | 142,594   |
| ③福利厚生     | 275,000   |
| 管理費       | 1,402,759 |
| ①業務委託費    | 832,221   |
| ②交通費      | 0         |
| ③会議費      | 394,900   |
| ④事務用品     | 131,198   |
| ⑤通信費      | 44,440    |
| IT作業費     | 164,687   |
| 諸雑費       | 5,687     |
| 広報費       | 243,813   |
| 旅行費       | 338,900   |
| センターへの返却金 | 0         |
| 予備費       | 0         |
| 翌期へ繰越金    | 743,075   |
| 合計        | 3,426,515 |

私の戦歴 19 太田清一

私の兵歴

元 陸軍技術上等兵

終戦

技術(機工) 下士官教育のため天津自動車廠に研修出張を命ぜられ、10日程経過した昭和20年8月15日天皇陛下の放送があった。

雑音が激しく聞き取れなかったが敗戦の勅諭であった。我々は兵役解除の喜びと、中国に居る兵隊はどうなるの

か、複雑な心境でいたその日の午後、教育隊長より各自の銃の菊のご紋章を消すように、また、所持している軍人勅諭・戦陣訓等教科書を焼却する旨の命令があり、入隊以来、何時も放すことのなかった銃の菊の御紋章を削った。

また、教科書類は、ガソリンを掛け焼却した。自動車廠内には糧秣及び被服倉庫があり、有

刺鉄線で囲まれ高圧電流が流れていて、只一つの正門以外は出入りできなかった。

終戦の日から現地除隊が可能となり、希望者が天津在住の知人を頼り部隊を離れていった。そして多くは内地帰還を待つこととなった。

支那派遣軍105万が復員できたのは、中華民国蒋介石総統の「徳を以って恨みに報ゆる」との対日戦勝報告があつ

た故とされている。

記憶をたどり拙文を記してきましたが、この稿にて終りと致します。

ありがとうございます

ごさいました。

本来なら、まだまだ続く長編ですが、完結編までまとめて自費出版されるご予定もあるとか、その節は是非ご購読をお願いいたします。

事務局だより

共助会事務局の開設日 平成22年度9月~11月は左記の日程で事務局を開設いたします。

9月

第2相談室

1日(水)・2日(木)・13日(月)・27日(月)・30日(木)

10月

第2相談室

1日(金)・4日(月)・12日(火)・25日(月)・29日(金)

11月

第2相談室

1日(月)・2日(火)・8日(月)・22日(月)・30日(火)

紙面変更のお知らせ

諸般の事情によりこの28号より、紙面のサイズをA3からA4に変更いたしました。従って創刊以来連載され、多くの方々に愛読いただきました、太田清一元幹事長ご寄稿による『私の戦歴』も残念ながら今回で終了させていただきます。

(編集部)